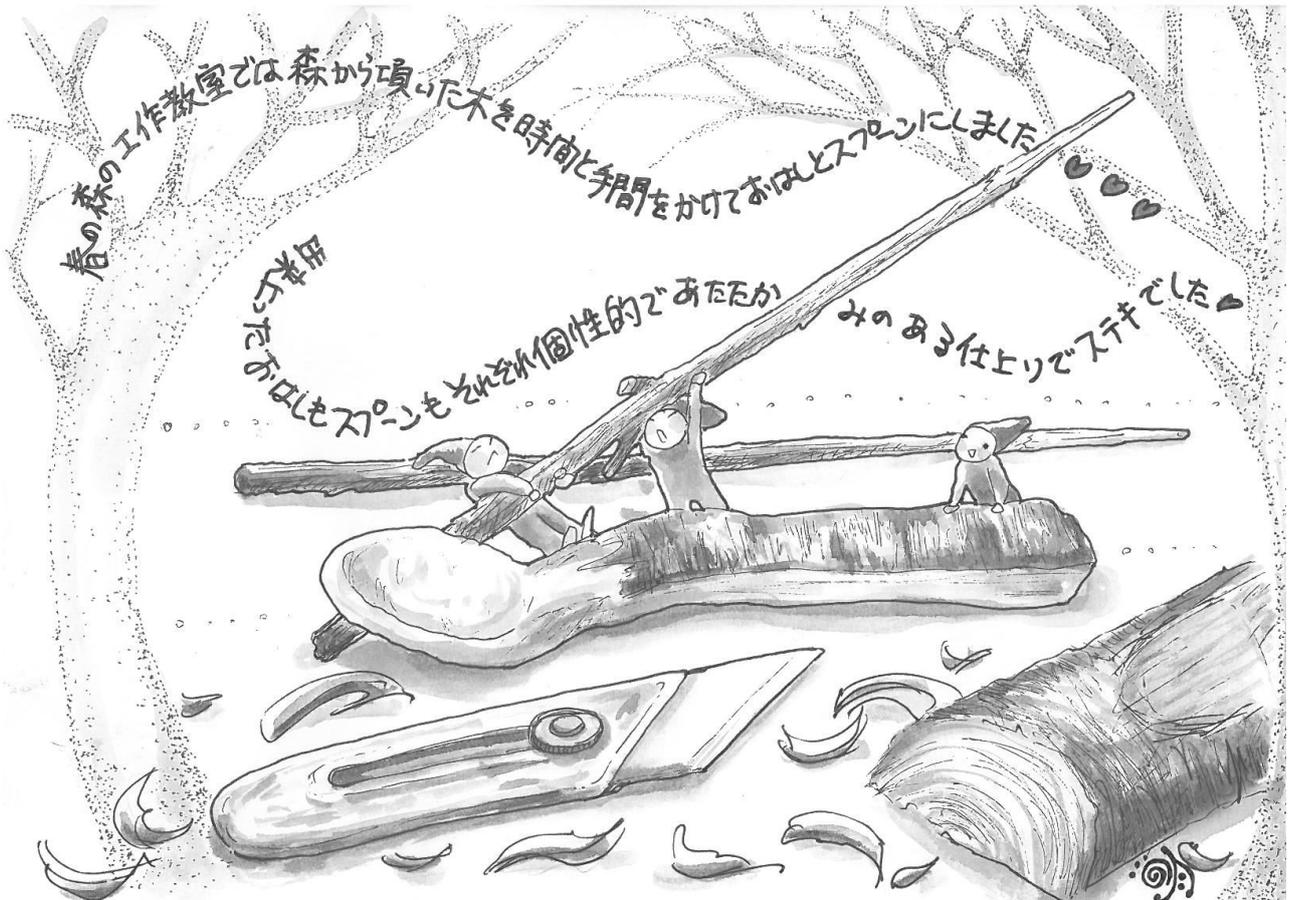


ハヶ岳だより

川崎市ハヶ岳少年自然の家
NO.54
2015. 3. 30



厳しい寒さも過ぎ、ようやく春の雰囲気を感じられる日が多くなってきました。

この冬の雪は、降った日数は多く感じられましたが、降雪量は少なく、厳しい寒さだけが印象に残っています。

3月26日27日には、春の中学校自然教室の实地踏査がありました。そして4月2日3日には、前期小学校自然教室の实地踏査があります。

今年の新規プログラムとしては、昨年からは始めた大鍋の「新メニューの「パエリア」です。

昨年度は大鍋で焼きそばを提供していましたが、バーベキューのメニューの中にも焼きそばがあり、かぶってしまっていました。

そこで、冬の間スタッフがスペイン東部バレンシア地方には行けないので、とりあえず研究して提供までこぎつけました。

まずは、自然教室で提供することを前提に150人前は作れないといけません。

食材の分量、調理の順番、火の調整など考え抜いた末の完成でした。

秋に主催事業で一回お試して作ってみました。まだ自然の家のプログラムに並べるのは少し足りない感じでした。

3月に入り、スタッフ総出で考え抜いた調理方法で50人前を作ってみたところ、目茶苦茶美味しかったのです。

具も海鮮がたっぷりだし、おこげが美味しい！
中学校の实地踏査での評判も上々でした。

自然教室で多くの学校が実施してもらえたら、冬の苦勞が報われます。よろしく願います！

「ハヶ岳の春便り」

ハヶ岳に暮らしていると、季節の変化にとっても敏感になります。季節の変わり目のこの時期は、ちょっと服装を間違えると寒さに凍えたり、逆に暑くてつらい思いをしたりすることもあり、野外に出る時は天気予報の予想気温チェックが欠かせません。

そろそろ山菜の季節もはじまります。毎年桜の便りが聞かれる頃にはフキノトウやカンゾウの芽を見つけて夕食の一品にします。ポカポカ陽気だった昨日は近くの土手でツクシをとって玉子とじにしてみました。

昨日と打ってかわって今日はシトシト雨模様です。真冬と違って暖かい雨が降っています。凍った土は溶け出し、水をたっぷり吸い上げた木々は再び生きいきとよみがえっていくようです。雨に霞む山の斜面にコブシの花が咲いているのを今朝見つけました。

木々が芽吹き、毎日どこかで春が生まれているそんなハヶ岳の春を少しだけご紹介させていただきます。(K)



施設紹介 (キャンプサイト)

キャンプサイトは、テントを立ててキャンプが出来る場所です。

夏には大きなテントを常設しているので、それを使って活動をする団体がありますが、自然の家では常設テント以外にドーム型のファミリーテント、タープを貸し出しています。そのテントをキャンプサイトに自分たちで張って活動することができます。

もちろん寝袋、アルミマットなども貸し出しをしています。自然の家の利用予約をおこなう際に、テント、タープなど必要なものを申し込んでおけば、キャンプ道具を持参しなくてもテントでキャンプすることができます。

そのほかに昨年、たき火台やダッチオーブン、ハンモックも購入しているので、さまざまなキャンプ活動をおこなえます。

このキャンプサイト付近をゆっくりと散歩すると、シカのフィールドサイン（歩いた跡や木の皮を食べた跡など）やリスの食痕、きれいな松ぼっくりなど見つけたりもできます。

そんなキャンプサイトをぜひ利用してみてください！！



(ちょっとお薦の一冊)

「ヤクーバとライオン (1) 勇気」ティエリー・デデュール 作
柳田邦男 訳

この絵本は、色鮮やかなカラーの絵本ではなくモノクロの絵で描かれていますが、その絵の中に力強さが感じられる絵本です。

アフリカの奥地にある小さな村の少年とライオンとの話です。

本当の勇気とは何か！

ヤクーバはライオンに二者択一の行動をせまられます。

どんな行動でしょうか？

また、読んでいて情景を思い浮かべることができる絵本です。

この本の抜粋を載せます。(「ヤクーバとライオン (1) 勇気」講談社 抜粋)



ヤクーバはきょうふとたたかっていた。
何かのかげがうごいたり、草木がおそいかっ
てくるように見えたり、風の音がライオンのほ
える声に聞こえたりする。
そのたびに、胃ぶくろがきゅうっとちぢまる。

この絵本には続編もあるので、併せて読んでみてください。

スラックラインできます！

スラックラインというのを知っていますか？

スラックラインは綱渡りとトランポリンを合わせたものです。

テンションを張ったラインの上を歩いていきますが、まずはラインの上に立つことから始めます。体幹、バランス感覚や集中力を鍛えるのに役立ちます。

上級になればラインの上で飛んだり、技を出したりしています。

自然の家で購入したものは初心者用で長さ4mのものです。

写真は小布施町の浄光寺 (スラックラインのメッカになってます)

で職員が体験しているところ

です。

ここには、子どもや大人の方々が多く来て体験していました。

バランスを取って立つ練習だけで楽しく活動できます。



近隣紹介

【入笠山と鼻戸屋】

入笠山は、パノラマリゾートのゴンドラ (有料) に乗り、ゴンドラ頂上から1時間ほど歩くと山頂につきます。

途中、入笠湿原を通り花や景色を散策して最後の30分ほど上りが続きます。晴れていれば、360度山々が見れ景色が素晴らしいです。

鼻戸屋は、自然の家から歩いて1時間ぐらいのところにあります。自然の家から自然観察コースをとおり、防火帯を抜けそこから20分ほど上りが続き1つ目の展望台に着きます。そこから10分ほど歩くと2つ目の展望台に着きます。

鼻戸屋には富士見高原リゾートのカート (有料) で上ることもできます。

こちらも晴れていると素晴らしい景色を見ることができます。

入笠山と鼻戸屋は、富士見町の南と北にそれぞれ位置していて、入笠山山頂からは鼻戸屋を見ることができ、鼻戸屋展望台からは入笠山を見ることができます。どちらも眼下に、富士見町の街並みなど見ることができます。

できれば、両方の雄大な景色と空の広さを味わってもらいたい所です。

自然の家に来たら、この2か所に出かけてみてください。



川崎市スポーツ協会との共催事業
「春の清里・蓼科方面 ノルディックウォーキング」の募集

春の八ヶ岳を楽しみませんか？
ノルディックウォーキングで体を動かし、その後に温泉でくつろぎます！

開催日：平成27年5月16日(土)～18日(月)2泊3日

JR登戸駅からバスの送迎有

内容：1日目 清里方面ウォーキングと温泉
2日目 蓼科横谷峡ウォーキングと温泉など
3日目 近隣の工場見学

参加費：お一人様 27,000円

募集定員：25名(申し込み多数の場合抽選)

申込期間：平成27年5月1日(金)17時まで

申込み方法：自然の家ホームページ内「春の清里/蓼科方面ノルディックウォーキング
参加申込書」に必要事項をご記入の上、直接「川崎市スポーツ協会」へファックス等でお送りください。



川崎市八ヶ岳少年自然の家
〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原
12067-482
Tel 0266-66-2011
Fax 0266-66-2014
ホームページでも情報をお伝えしています。
<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>
指定管理者 (一社)富士見町開発公社

～あとがき～

寒かった冬が終わり、春を感じる季節となりました。

雪解けにあわせて色々な植物が地面から芽を出し始め、木々のつぼみも膨らんできています。

鳥のさえずりも多く聞くことができます。

梅、桜が咲くまではまだですが、春の八ヶ岳を楽しみに来ていただけたらと思います。(D)